

CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし
WINTER
1992

26

特集

都市と高層ビル



CITY & LIFE NO.26

特集 都市と高層ビル



都市の高層化は、19世紀末からの近代主義により、アメリカで始まる。

ニューヨークの摩天楼は現在も高層ビルの象徴的存在である。

日本においては霞ヶ関ビルを皮切りにオフィスビルを中心として、

1970年代から超高層ビルの建設が始まった。

そして、80年代の経済力を背景に次々と建設されてきた。

高層ビルはその高さゆえに

中低層の建築物とは異なる問題点を抱えている。

人々の暮らしにかつてなかった変化をもたらし、

都市計画をはじめとする各方面に影響を及ぼすと同時に、

その建設には工夫が要求されている。

今も都市の中に増え続ける高層ビル。

それをめぐって、さまざまな角度から考察してみたい。

CONTENTS

| | |
|----------------------------------|----|
| 都市計画から見た高層ビル……ニューヨークの都市計画と摩天楼の形成 | 2 |
| ／越沢明 | |
| 高層化の社会的背景とその読み方 | 11 |
| ／高木明彦 | |
| 〈対談〉高層幻想論 | 16 |
| ／高山宏／八束はじめ | |
| 〈ケーススタディ〉アーバン・デザインにみる高層ビルへの取り組み | 24 |
| アジアNIESはインターナショナルを目指す | 32 |
| ／保科秀明 | |
| 〈ルポ〉東京都庁、ビル見台探し | 39 |
| 〈都市を拓いた人々・9〉高知 | 44 |
| ／吉田豊 | |
| ブックリスト | 48 |
| バックナンバーのお知らせ・INFORMATION | 49 |